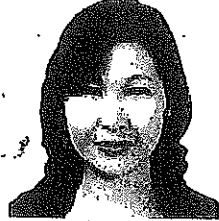


台北駐日経済文化代表処横浜分処 張淑玲処長が特別寄稿

台日交流の深化に期待

台北駐日経済文化代表処が行った「日本人の台湾に対する意識調査（2021年）」では、75・9％の人が台湾に親しみを感じ、71・4％の人が台日関係は良好であると答えた。今後、台日間で特に力を入れて行おうべき交流分野については「経済」の57・6％が最も多く、台湾のCPTPP（環太平洋パートナーシップ



台北駐日経済文化代表処横浜分処の張淑玲処長

台湾と日本の往来は活発で、新型コロナウイルス流行前は年間700万人に上り、人的往来のみならず、貿易、経済、技術その他の分野でも台湾と日本ではお互いに非常に重要なパートナーである。スポーツ交流においては、昨年開催された東京オリンピック・パラリンピック競技大会で、台

プに関する包括的および先進的な協定）加盟が台日間の貿易や産業連携の向上に寄与するというのが政府の主張や加盟に向けた努力を65・1％が「評価する」と回答した。

台湾への輸入を禁止した。中国が輸入を禁止した。在日華僑や日本の各自治体からの応援もあり、輸出用パイナップルの63・2％が日本に出荷され、輸出高は過去最高を更新した。

昨年11月には「台湾ウィークin横浜」が横浜市役



台北駐日経済文化代表処
台湾の日本における外交の窓口機関。東京・港区に所在し、実質的に大使館や領事館の役割を果たす。1972年、日本と中華人民共和国の国交成立に伴い、台湾と日本の国交が断絶。ただ、貿易、経済、技術、文化などの面で関係を保ち続けるための実務機関として同年12月、台湾側・日本側双方に在外事務所を設置する取り決めが結ばれ、組織が設立された。横浜、大阪、福岡、那覇、札幌の各市に分処などが設置されている。

プに関する包括的および先進的な協定）加盟が台日間の貿易や産業連携の向上に寄与するというのが政府の主張や加盟に向けた努力を65・1％が「評価する」と回答した。



日華親善横浜市会議員連盟を通じて横浜市内13カ所の児童施設に30箱のパイナップルを贈呈した—令和3年3月

経済関係や「善の循環」…重要なパートナー

所1階で開催され、多くの日本人の皆さまから好評を得たところは、非常にうれしく思うところであり、今年も開催されることでも、さらなる交流が深まることを期待している。

また一方で、近年頻発した災害時にも相互扶助を通じた「善の循環」が形成されている。その一環として、当処はわが政府を代表し、医療物資などを県や横浜市などの自治体に寄贈した。その善意がつながり、参議院はじめ県、横浜市などの友好議員連盟により提出された「台湾のWHO（世界保健機関）」支持の意見書が議会で可決、また、日本政府よりわが国へ6度にわたり計440万回分ワクチンが無償提供され、ワクチンが不足しているさなか、日本より差し伸べられた善意に心から感謝している。

防疫には地理的国境がなく、空白は決して生じてはならない。政治的理由で台湾の2300万人を排除することは不当であり、引き続き台湾のWHOなど国際組織への加入、CPTPPへの参加の支持を切に願うところである。